

# 豊橋技術科学大学同窓生懇親会(2005年1月21日)のご報告

04年度同窓会事務局担当 建設工学系 助手 細田智久

大学主催の知的財産・産学官連携フォーラムin東京に併せ、同窓会が発足して以降初めて東京(東京厚生年金会館)で全8工学系の同窓生を対象とした懇親会を開催しました。

当日は平日にもかかわらず、同窓生・旧教職員50名、本学教職員28名、来賓1名、同窓会各系役員15名の計94名の非常に多くの方にお集りいただき、当初は参加者数に不安を抱きながら計画していた同窓会長及び各系役員全員が「ほっ」と胸を撫で下ろしました。

後藤同窓会長、西永学長、松為副学長にご挨拶いただき、その後は系毎にテーブルを囲み、立食での軽食ランチをとりながら、同窓生や勤務先の情報交換、教職員との思い出話等が行われ、1時間の短い時間でしたが、大変にぎやかな会となりました。

さらに、神野信郎氏(中部ガスグループ会長、本学理事)からお祝いの言葉をいただき、本学の誘致・創設にご尽力いただいた経緯や東三河で活躍する同窓生への感謝と期待などをお話していただきました。最後に小林副学長から、すでに1万人を超える同窓生の方々に今後も大学を様々な面で支えていただきたいと閉会のご挨拶をいただきました。

出席いただいた方、また平日でお忙しく不参加のご連絡等をいただいた方にも懇親会の開催にご理解とご協力いただいたことを深く感謝しています。大学側のフォーラム事務局からも謝意をいただきました。

大学は、2004年度の国立大学の法人化によって、これまでより私立大学に準じた経営を迫られてきています。そうした中で、同窓生の代表として同窓会長も大学の運営に携わることになり、産学官連携の橋渡し役・大学を盛り上げ支えていく組織として、今後もより一層同窓会と同窓生への期待が高まってくると思われます。1976年に創設された大学も2006年度に30周年を迎え、大学・同窓会の共催による記念行事の計画も進んでいますので、今後より一層の同窓会へのご理解とご協力をお願いいたします。



後藤同窓会長(物質工学系4期生)から開催の挨拶



各系テーブルでの歓談の様子



会場全体の様子